

## いじめに関する校内研修

### 1 研修のねらい

いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得るという危機意識をもち続け、子供一人一人の発達上の特性や普段の様子を把握しておくことが重要である。「口数が減った、挨拶が返ってこない、文字が雑になった、一緒にいる友達が変わった」など、少しの変化を見逃さず子供と関わっていくことが、いじめの早期発見、早期対応、さらには未然防止につながる。この研修では、事例検討を通して、いじめへの対応について実践力を高める。

### 2 事前準備

- (1) 配付資料及び振り返りシートを印刷する。
- (2) グループワークに必要な付箋紙等を用意する。
- (3) グループを作り、参加者に伝える。(グループ編成は、経験年数や校務分掌等を考慮し、様々な視点で協議できるようにする。)
- (4) グループワークの司会者、記録者、発表者を決めておく。

### 3 活動の流れ

課程	活動の内容	留意点	時間
導入	○アイスブレイキング 似たところ探し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介の後、グループ全員の共通点を見付ける。1分間でできるだけたくさん見付ける。一番多く見付けたグループに発表してもらう。</li> </ul>	3分
	○本時の活動の流れ 本時の活動の流れについて説明する		1分
展開	○「A子の普段の様子」 資料1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1を配布し、A子の普段の様子から、A子がどのような特性をもった子であるか、今後、A子の周囲で起こる可能性のある問題について考え、ワークシートに記入する。</li> <li>・グループ内で考えを発表し共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1、ワークシート①を配布する。</li> <li>・発達障害、虐待などの可能性も探る。</li> <li>・共有するだけにとどめ、まとめはしない。</li> </ul>	6分
	○「その後のA子」 資料2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2を配布し、A子に起こった問題を確認する。</li> <li>・この後、学校や担任としてどのような対応をしていけばよいか考え付箋紙に書き込む。</li> <li>*A子に対して</li> <li>*周囲の子に対して</li> </ul>		21分
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2、ワークシート②個人用、グループ用を配布する。</li> <li>・資料を読む時間を確保する。</li> <li>・それぞれの視点について対応策を考える。</li> </ul>	

	<p>*学級全体に対して</p> <p>*保護者、外部機関等の連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内で考えをまとめる。</li> <li>・グループごとに対応策を発表する。</li> </ul> <p>○A子に対するいじめを未然に防ぐには</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1で考えたことに戻り、この時、学校として担任として、どのようなことができたか考え、ワークシートに記入する。</li> <li>・グループ内で考えを発表し共有する。</li> <li>・グループごとに予防策を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期的な視点、中長期的な視点をもつようにする。</li> <li>・それぞれの視点について発表し、共通の対応策等について話し合う。</li> <li>・ワークシート①に記入する。</li> <li>・A子や学級全体への関わりや働きかけ、保護者、関係機関との連携など</li> <li>・ワークシート③にグループの考えをまとめる。</li> </ul>	21分
終末	<p>○活動の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動について振り返り、感想をワークシートにまとめる。</li> <li>・感想を発表する。</li> </ul> <p>○スクールカウンセラーから、活動のポイント等について説明する。</p>		8分

## 資料1

小学5年生のA子は、明るく元気で人なつこいが、「周りの雰囲気を感じ取ること」「友達の気持ちを感じ取ること」などが苦手な児童である。時には「順番を守れない」などルールを守れずに自分勝手な行動をとることもあり、友達と意見が食い違ったり、自分の思い通りにならなかつたりすると急に怒り出すこともある。また、運動はあまり得意ではなく、ぎこちない動きも見られる。

担任は、4月に転任してきたばかりである。A子に対して多少気にはなっていたが、A子本人や周りの友達からの相談もなかったので、基本的には明るく元気な子であるという捉えで、個別に話を聞くようなこともしなかった。

## 資料2

夏休みまであと1ヶ月となった頃、担任は「A子がいつもより元気がない、友達への接し方がこれまでよりもきつい」と感じるようになった。その理由をA子に聞いてみたが、A子は「別に何も無い」と答えただけであった。その後しばらく注意して様子を見てみると、他の子がA子と一緒にグループになりたがらなかつたり、グループになってもA子に話しかけなかつたりすることが分かった。また、近くの子が、自分の机を少しA子の机から離していたり、A子が近くに来ると遊びをやめてその場から去ったりする行動が見られた。

担任が見た事実をもとに再度A子に話を聞くと、「みんなが相手にしてくれない。無視されているように思う」「でも、たぶん自分にも悪いところがあるんだと思う」「自分のよくない所も直したい」と話してくれた。A子を避けていた子に話を聞くと、「急に大きな声を出したり、順番ぬかしをしたりするから嫌だった」「自分の思い通りにならないとすぐ怒り出すから怖い」など、無視したり仲間はずれにしていた理由が聞かれた。このことをA子の保護者にも伝えた。保護者は「いじめられたことはとてもショックである」「もしかしたら友達とうまく関われないことがあるかもしれないと思っていた」と話してくれた。

学校名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

A子の特性

A子の周りで起こる可能性のある問題

いじめを未然に防ぐために

感想

学校名

氏名

A子に対して

周囲の子に対して

保護者に対して

関係機関等との連携

グループとしての考え

--

ワークシート②  
グループ用

A子に対して

周囲の子に対して

保護者に対して

関係機関等との連携

ワークシート③

グループ用

いじめを未然に防ぐには

課程	活動の内容	留意点	時間
導入	<p>○アイスブレイキング「似たとこ探し」</p> <p>「始めに、名前のみ自己紹介を行って下さい。その後、1分間、時間を計りますので、グループ内全員の共通点をできるだけたくさん探して下さい。他のグループに聞かれないよう、できるだけ小さく固まって相談して下さい。趣味、特技等、何でも構いません。まず、自己紹介をして下さい。（自己紹介が終わったら）それでは、似たとこ探しを始めます。用意、始め。」</p> <p>「1分経ちました。各グループいくつ見付けられたか教えて下さい。では、一番たくさん見付けた☆☆グループの代表の方に発表してもらいます。」</p> <p>○本時の活動の流れ</p> <p>「本時の活動は、ある児童、A子の事例の対応策を考えるとともに、いじめの未然防止についても考えていきます。これまでの指導の経験を生かしながら考えて下さい。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ近い距離で話をすることにより、グループの一体感を高める。</li> <li>・簡潔に説明する。</li> </ul>	<p>3分</p> <p>1分</p>
展開	<p>○「A子の普段の様子」 資料1</p> <p>「資料1『A子の普段の様子』を見て下さい。この資料1から、A子はどのような特性を持った児童であるか、今後A子の周囲で起こる可能性のある問題について、その根拠も合わせて、ワークシートに記入して下さい。」</p> <p>（ワークシートに記入）</p> <p>「今考えたことをグループ内で発表して下さい。」</p> <p>○「その後のA子」 資料2</p> <p>「資料2『その後のA子』を見て下さい。この問題について、学校や担任としてどのような対応をしていけばよいか、短期的な視点や中長期的な視点、A子の特性等も考慮しワークシートに記入して下さい。」</p> <p>（ワークシートに記入）</p> <p>「今考えたことをグループ内で発表して下さい。発表が終わったら、出された考えについて意見交換をして下さい。記録者は、出された考えをグループ用のワークシートに記入して下さい。」</p> <p>（グループ内発表・協議）</p> <p>「それでは、グループで考えた対応策について発表してもらいます。順番に発表して下さい。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会者、記録者、発表者を確認する。</li> <li>・作業が進まない場合には、発達障害、虐待等の視点を提示する。</li> <li>・質問を受けてもSCとしての見立ては話さず、先生方に考えてもらう。</li> <li>・効果等を意識しすぎず、考えられる対応策をすべて出すよう指示する。</li> <li>・KJ法を用いてもよい。</li> <li>・共通して出てきた対応策等について、実際の場面を想定しながら、その効果や課題等について具体的に話し合う。</li> </ul>	<p>6分</p> <p>21分</p>

	<p>○A子に対するいじめを未然に防ぐには 「資料1でA子の特性について考えていただきました。このことを基に、いじめを未然に防ぐために、学校として担任としてどのようなことができたか考え、ワークシートに記入して下さい。」 (ワークシートに記入)</p> <p>「今考えたことをグループ内で発表して下さい。発表が終わったら、出された考えについて意見交換をして下さい。記録者は、出された考えをグループ用のワークシートに記入して下さい。」 (グループ内発表・協議)</p> <p>「それでは、グループで考えた防止策について発表してもらいます。順番に発表して下さい。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A子の特性を生かすような視点も提示する。</li> <li>・学校内での様々な立場から、それぞれの視点で考えるよう指示する。</li> <li>・共通して出てきた防止策等について、実際の場面を想定しながら、その効果や課題等について具体的に話し合う。</li> </ul>	21分
終末	<p>○本時の活動の振り返り 「では、本時の活動を振り返っていただきます。ワークシートに、本時の活動を通して、気付いたことや感想等を記入して下さい。」 (ワークシートに記入)</p> <p>「それでは、気付いたことや感想を発表して下さい。」</p> <p>○SCから、活動のポイント等について説明する 「いじめに限らず生徒指導上の課題については、子供の発達上の特性が関わっているケースが多くあります。課題に対して効果的な指導や対応をしていくためには、個々の発達上の特性を共通理解しておくことが不可欠となります。本事例でも、その背景に発達上の特性が関係していると考えられます。いじめが起きてしまった後の対応でも、発達上の特性を考慮していく必要があります。また、資料1で発達上の特性に気付いた段階で、適切な対応をすることができていれば、いじめの問題を未然に防ぐことができたかもしれません。先生方が子供の発達上の特性に気付いたときに、一人で考えるのではなく、すぐに周りの先生方やスクールカウンセラー等と相談し、関わり方や対応の仕方を検討し、共通理解した上で、一人一人に応じた適切な対応をしていくことが大切です。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挙手がなければ指名する。</li> </ul>	8分